



スマイルサポート



No. 4 令和3年12月24日発行

県北地区高等学校特別支援隊研修会

11月26日（金）、秋田県立大館桂桜高等学校で、県北地区高等学校特別支援隊研修会を開催しました。研修内容や参加者の感想を紹介します。

講演 『発達障害のある生徒に対する合理的配慮の在り方』

医療法人光智会大館ひかり苑施設長 高橋 義博 氏

本講演では、発達障害の特徴や発達障害の気づきのきっかけとなるサイン、具体的な接し方のコツ、治療や服薬についてなどについて医学的見地から教えていただきました。

【合理的配慮とは】

障害の有無に関わらず、一人ひとりが過ごしやすい社会を実現するためにとっても重要な概念。障害のある方々の人権が障害のない方々と同じように保障されるとともに、教育や就業、その他社会生活において平等に参加できるよう、それぞれの障害特性や困りごとに合わせて行われる配慮のことです。

2016年4月に施行された「障害者差別解消法」により、この合理的配慮を可能な限り提供することが、行政・学校・企業などの事業者に求められています。

【子どもの特性に合わせた合理的配慮】

- ・読み書きに困難がある子の場合、拡大教科書やタブレット、音声読み上げソフトを利用する。
- ・周りの刺激に敏感で集中し続けることができない子の場合、仕切りのある机を用意したり、別室でテストを受けられるようにしたりする。
- ・指示の理解に困難がある子の場合、指示を1つずつ出すようにしたり、見通しが立つようにその日の予定をカードや表にしたりする。
- ・肢体や視覚が不自由な子の場合、介助者や盲導犬の補助を受けながら学校生活を送れるようにする。

【障害タイプ別に接し方のコツや注意点】



【自閉症スペクトラムの生徒に対する接し方】

- ・自尊心を傷つけない。
- ・言葉掛けは対面で正面で対応する。
- ・ゆったり、穏やかに、時には笑顔も必要。
- ・分かりやすい言葉で簡潔な言葉掛けをする。
- ・言葉だけに頼らず、ボディランゲージ、道具や写真、物を使っての対応理解を助ける。
- ・豊かな感情も必要、心が動く働き掛けをする
- ・生徒の「分かる」「できる」を増やす対応を工夫する。
- ・本人なりの理由や背景があるとして対応する。

【対応時の注意点】

- ・生徒の取り繕いを理解する。
- ・本人は普通の対応としていることを即座に否定しない。
- ・まずは普通の対応として接してみる。

【ADHDの生徒に接する際の5つのコツ】

- 1, 口頭での指示は伝わりにくい。視覚情報で具体的な指示を！
- 2, その場ですぐに良いところをほめる。
- 3, 叱るときは何が悪いか説明し、好ましい行動も教えてあげる。感情的な叱りでは「叱られた」というネガティブな感情だけが残る。
- 4, 得意・不得意を理解させる。どのように対処していけばいいのかを教える。
- 5, 個性と才能を伸ばす。ADHDは不得意なこともあるが、難なくできることや得意なこともたくさんある。



【学習障害の子どもの苦手に対するアプローチ例】

【対応時のコツ】

LDの子どもは特定分野での困難を伴う障害のため、その不得意な部分を見付け、子どもに合った方法を探り、ゆっくりとサポートする必要があります。

1, 文章を読むのが苦手

→文章を1行ずつゆっくりと指でなぞりながら読む癖をつけていくよう促す。短い文から始める。

2, 書くことが苦手

→なぞり書きから練習し、決まった範囲内で収まるように書く。慣れてきたら書き順や漢字のへんやつくりまで意識するよう促す。

3, 話す（自分の考えを言葉にする）ことが苦手

→興味のある話題を投げ掛け、子どもが話し始めたら話を遮ることなく耳を傾け、フォローを入れる。

4, 計算（数字）が苦手

→少ない問題をゆっくりと丁寧に解く。分からない問題は答えだけでなく道筋まで教える。

参加した皆さんからは、「発達障害についての専門的な立場・医療の立場からの講演が大変参考になり理解が深まった。」「クラスにも似たような症状の子がいる。今日学んだことを生かしていきたい。」などたくさんの感想が寄せられました。

実践発表 『高等学校における特別な支援を必要とする生徒への支援に関する実際』

小坂高等学校特別支援教育コーディネーター 富樫さつき先生、大館桂桜高等学校特別支援教育コーディネーター 今川浩子先生のお二人から、実践を発表していただきました。すぐにまねしてみたいと思える支援をたくさん例示していただきました。校内支援を進めて行くに当たって「まずはできることからできる範囲でやっていくのがコツ」という言葉が、参加者から共感を得ていました。

●クロムブックと電子黒板を使った授業



●カードを使った授業



地域支援担当【問い合わせ先】 何でもお気軽に御相談ください。

比内支援学校 教諭（兼）教育専門監 藤田久美子
特別支援教育コーディネーター 加藤 弘子
TEL0186-55-2131 FAX 0186-55-2132

